

議員管外研修報告

総務厚生常任委員会

(7月15日～17日)

新潟県津南町

「移住定住推進支援」について

人口約8300人、新潟県最南端の豪雪地帯でありながら、年々移住者数を増加させている。

アルバイトと旅を組み合わせた「おてつたび」による移住体験ツアーを通じ、雪国の実際の生活を体験する事や、地域の住人との交流を通して移住後の不調和を防いでいる。

移住者数は令和5年度56人、6年度67人であり、例年60人前後が移住している。

富山県舟橋村

「人口が増え続けている施策」について

人口約3300人、面積が日本一小さな自治体で、40年近くも人口増加を実現してきた。

「子育てに優しい村」という方針に基づき、村営住宅の設置で子育て世代の流入を促進し、ひまわりの栽培を核とした取り組みで地域の課題解決や観光振興を図っている。

地域の公園整備を通じ、住民が参画する「縁結びプロジェクト」では、小学生がイベントの企画・運営にも参加する中で、親同士のつながりも生まれ、地域社会が活性化しており、移住先に選ばれる機会が増えている。



小学生のアイデアがいっぱい（舟橋村）

まとめ

津南町は移住者を引き付ける魅力的な施策を展開しており、地域住民との共助が実現されている。

舟橋村は小さな村ながら、子育て施策と地域共創の取り組みが功を奏している。大変参考になる貴重な研修となった。

産業建設常任委員会

(7月22日～24日)

群馬県川場村

「稼ぐ観光としての地域振興」について

「農業プラス観光」

を軸に地域振興を進めており、道の駅「川場田園プラザ」は年間約290万人が訪れ、指定管理料を上回る収益を村に還元して持続可能な観光モデルを実現している。

成功の背景には、世田谷区との長年の交流や、赤字経営からのV字回復を果たした民間経営の手腕が挙げられる。

埼玉県桶川市
「道の駅を活用した先進事例」について

道の駅「べに花の郷おけがわ」は、完成直後から年間売上目標の約6割を2カ月で達成。施設の設計・建設から維持管理・運営に至るまでを一括して発

注し、効率化やサービス向上を実現している。市民・行政・事業者が一体となり「稼ぐ観光」の実現を目指している。

まとめ

両自治体の事例から、観光を地域経済を支える「投資」として捉え、民間との連携や収益構造の工夫による持続可能な観光モデルの重要性が示された。白鷹町の観光政策における収益性や戦略性を考える上で多くの学びを得る貴重な機会となった。



「稼ぐ道の駅」川場田園プラザ

編集後記

▼ 昨年から米騒動や天候不順による農作物への影響が心配され、食の自給の大事さを、改めて思い知らされる事となりました。町の基幹産業であり、国土保全をも担う農業をもっと考えなくてはならないと感じたところです。

▼ 朝晩の冷え込みと、ススキが夕日に輝く姿を眺めては、確かな季節の移ろいを感じます。▼ 空気が乾燥し、感染症も増加する季節ですので、どうぞご自愛ください。(衣袋)

広報委員

委員長 佐々木誠司
副委員長・編集長 衣袋正人
委員 山田 仁
委員 笹原俊一
委員 横山和浩
印刷 (有)梅津印刷



発行責任者 白鷹町議会議員 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp

電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
HP <http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/>



議会だよりしらたか 第168号(令和7年10月15日発行) 20

次の定例会は12月です

お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。